

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際航空専門学校	昭和55年3月28日	猪掛 隆	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人浅野学園	昭和56年3月25日	中井 眞一郎	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
目 的	学校教育法の規定に基づく専門課程を置く専修学校として、航空機の整備に関する専門技術を教授するとともに、社会人として必要な教養を与え、もって優れた航空技術者を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	航空整備科 (飛行機コース)	3年(昼)	4,114時間	平成19年文部科学省告示第21号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,422時間	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,410時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	58(分科後88)人	32人	0人	32人		
学期制度	■1学期：4月10日～7月24日 ■2学期：8月21日～12月22日 ■3学期：1月11日～3月19日			成績評価	■成績表(有)・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月9日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	■学生規則による	
生徒指導	■クラス担任制(有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 体育祭、校外研修 ■サークル活動(有)・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 航空機・ヘリコプター整備、修理、改造 重工系、航空機製造、航空機部品製造、修理 公務員（警察・消防・自衛隊）</p> <p>■就職率※<sup>1</sup>100% 29名全員 ■卒業者に占める就職者の割合※<sup>2</sup>100% 29名中29名就職 ■その他（任意）</p> <p>（平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報）</p>	主な資格・検定	二等航空整備士（飛行機） 航空無線通信士 航空特殊無線技士 ガスアーク溶接技能 危険物取扱者
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 -%</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 担任教官、教務部長、校長との面談の実施、保護者との連携、カウンセリングなど。</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.asano-kac.ac.jp">http://www.asano-kac.ac.jp</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
大森 欽仁(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 人財開発部 訓練グループ グループ長
安斎 俊晴(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター教育訓練部 基礎教育チーム 主席
森田 力 (業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス安全品質・業務部安全品質推進グループ課長
小澤 洋(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 川越メンテナンスセンター センター長
猪掛 隆	国際航空専門学校 校長
後澤 進次	国際航空専門学校 管理本部長
山田 知良	国際航空専門学校 教務部長
岩田 高廣	国際航空専門学校 教務部次長
山田 知良	国際航空専門学校 教務部次長
阿部 芳恵	国際航空専門学校 管理本部

\* 編成委員の任期は 2 年とする。

(開催日時)

第 1 回 平成 29 年 5 月 11 日 12 : 00 ~ 15 : 00

第 2 回 平成 30 年 2 月 15 日 12 : 00 ~ 15 : 00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省航空局における「二等航空整備士(飛行機)」の基準に合致する知見・技術を身に付け、幅広いニーズに対応できる整備士の育成に務める。航空業界出身教官、会社見学等により得られる企業に求められる具体的知識・技術を教育に反映させ、航空業界並びに企業への貢献を目的とし養成課程を推進する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
二等航空整備士飛行機コース	小型航空機について企業と連携し、在学中に二等航空整備士資格を取得する	株式会社 JAL エンジニアリング 全日本空輸株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

国土交通大臣指定 航空従事者養成施設 「教育規程」11-2 に基づき定期的な訓練(研修)を実施。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
森本 健 (業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 総務グループ長
奥西 武志(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 担当部長
蟹江興太郎(業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人事教育グループ長
山崎 一慶(本校卒業生)	多摩川エアロシステムズ株式会社 整備部 副部長
吉田 淳一(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 整備統括部長
山下 奉利(有識者)	国際航空専門学校 監事

学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp> 平成 29 年 6 月ホームページに公開

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp>

広報紙

学校説明会

授業科目等の概要

(工業専門課程一等航空運航整備士学科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			法規 (1) 航空法 規	航空法、施行規則、関連法規等	1 学 年	50		○		
○			法規 (2) 能力と 限界	ヒューマンファクター（誤作業防止に関し て）	1 学 年	20		○		
○			機体(1) 航空 力学	飛行機はなぜとぶのか。その原理を学ぶ	1・ 2 学 年	190		○		
○			機体(2) 機体	飛行機の構造、材料など	1・ 2 学 年	280		○		
○			機体(3) 装備 品	飛行機に使われている計器、その他の部品	1・ 2 学 年	330		○		
○			発動機	飛行機のエンジン（ピストン、タービン）	1 学 年	240		○		
○			英語	航空英語、TOEIC スコアアップ、英検受験等	1・ 2・ 3 学 年	180		○		
○			技術一般	飛行機の整備に係る一般技術	1・ 2・ 3 学 年	390		○		
○			教養一般	飛行機の整備に関わる一般知識	1・ 2・ 3 学 年	162		○		

○			試験		1・ 2・ 3 学年	64			○	
○			基本技術	航空機整備基本技術（技能審査受験）	1・ 2 学年	320				○
○			航空機及びシステム/系統装置	実際の飛行機の構造、各系統の知識	1・ 2・ 3 学年	460				○
○			航空機及びシステム/発動機	実際の飛行機の発動機の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	430				○
○			航空機及びシステム/電気計器装備	実際の飛行機の電気、計器等の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	200				○
○			航空機及びシステム/通信航法装備	実際の飛行機の通信機器の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	200				○
○			航空機の取扱い	実際の飛行機の試運転	2・ 3 学年	540				○
○			技能審査		3 学年	58				○
合計				17 科目	4,114 単位時間（ 単位）					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際航空専門学校	昭和55年3月28日	猪掛 隆	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人浅野学園	昭和56年3月25日	中井 眞一郎	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
目 的	学校教育法の規定に基づく専門課程を置く専修学校として、航空機の整備に関する専門技術を教授するとともに、社会人として必要な教養を与え、もって優れた航空技術者を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	航空整備科 (回転翼コース)	3年(昼)	4,114時間	平成19年文部科学省告示第21号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,422時間	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,410時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
75人	50(分科後77)人	32人	0人	32人		
学期制度	■1学期：4月10日～7月24日 ■2学期：8月21日～12月22日 ■3学期：1月11日～3月19日			成績評価	■成績表(有)・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月9日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	■学生規則による	
生徒指導	■クラス担任制(有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 体育祭、校外研修 ■サークル活動(有)・無)	

<b>就職等の状況</b>	<b>■主な就職先、業界等</b> 航空機・ヘリコプター整備、修理、改造 重工系、航空機製造、航空機部品製造、修理 公務員（警察・消防・自衛隊） <b>■就職率※<sup>1</sup>100%</b> 23名全員 <b>■卒業者に占める就職者の割合※<sup>2</sup></b> 100% 23名中23名就職 <b>■その他（任意）</b> （平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報）	<b>主な資格・検 定</b>	一等航空運航整備士 （ホーイング767） 二等航空整備士（飛行機） 二等航空整備士（ヘリコプター） 航空無線通信士 航空特殊無線技士 ガスアーク溶接技能 危険物取扱者 ガスアーク溶接技能 危険物取扱者
<b>中途退学の現状</b>	<b>■中途退学者 0名 ■中退率 -%</b> <b>■中途退学の主な理由</b>  <b>■中退防止のための取組</b> 担任教官、教務部長、校長との面談の実施、保護者との連携、カウンセリングなど。		
<b>ホームページ</b>	URL: <a href="http://www.asano-kac.ac.jp">http://www.asano-kac.ac.jp</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	社団法人日本航空技術協会 事務局長
大森 欽仁(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 人財開発部 訓練グループ グループ長
安斎 俊晴(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター教育訓練部 基礎教育チーム 主席
森田 力 (業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス安全品質・業務部安全品質推進グループ課長
小澤 洋(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 川越メンテナンスセンター センター長
猪掛 隆	国際航空専門学校 校長
後澤 進次	国際航空専門学校 管理本部長
山田 知良	国際航空専門学校 教務部長
岩田 高廣	国際航空専門学校 教務部次長
池上 和則	国際航空専門学校 エアロサポート科学科長
阿部 芳恵	国際航空専門学校 管理本部

\*編成委員の任期は2年とする。

(開催日時)

第1回 平成29年5月11日 12:00~15:00

第2回 平成30年2月15日 12:00~15:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省航空局における「二等航空整備士(回転翼)」の基準に合致する知見・技術を身に付け、幅広いニーズに対応できる整備士の育成に務める。航空業界出身教官、会社見学等により得られる企業に求められる具体的知識・技術を教育に反映させ、航空業界並びに企業への貢献を目的とし養成課程を推進する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
二等航空整備士回転翼コース	回転翼機について企業と連携し、在学中に二等航空整備士資格を取得する	朝日航洋株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

国土交通大臣指定 航空従事者養成施設 「教育規程」11-2に基づき定期的な訓練(研修)を実施。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
森本 健(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 総務グループ長
奥西 武志(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 担当部長
蟹江興太郎(業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人事教育グループ長
山崎 一慶(本校卒業生)	多摩川エアロシステムズ株式会社 整備部 副部長
吉田 淳一(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 整備統括部長
山下 奉利(有識者)	国際航空専門学校 監事

学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp> 平成29年6月ホームページに公開

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp>

広報紙

学校説明会

授業科目等の概要

(工業専門課程一等航空運航整備士学科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			法規 (1) 航空法 規	航空法、施行規則、関連法規等	1 学 年	50		○		
○			法規 (2) 能力と 限界	ヒューマンファクター（誤作業防止に関し て）	1 学 年	20		○		
○			機体(1) 航空 力学	飛行機はなぜとぶのか。その原理を学ぶ	1・ 2 学 年	190		○		
○			機体(2) 機体	飛行機の構造、材料など	1・ 2 学 年	280		○		
○			機体(3) 装備 品	飛行機に使われている計器、その他の部品	1・ 2 学 年	330		○		
○			発動機	飛行機のエンジン（ピストン、タービン）	1 学 年	240		○		
○			英語	航空英語、TOEIC スコアアップ、英検受験等	1・ 2・ 3 学 年	180		○		
○			技術一般	飛行機の整備に係る一般技術	1・ 2・ 3 学 年	390		○		
○			教養一般	飛行機の整備に関わる一般知識	1・ 2・ 3 学 年	162		○		

○			試験		1・ 2・ 3 学年	64			○	
○			基本技術	航空機整備基本技術（技能審査受験）	1・ 2 学年	320				○
○			航空機及びシステム/系統装置	実際の飛行機の構造、各系統の知識	1・ 2・ 3 学年	460				○
○			航空機及びシステム/発動機	実際の飛行機の発動機の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	430				○
○			航空機及びシステム/電気計器装備	実際の飛行機の電気、計器等の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	200				○
○			航空機及びシステム/通信航法装備	実際の飛行機の通信機器の構造、知識	1・ 2・ 3 学年	200				○
○			航空機の取扱い	実際の飛行機の試運転	2・ 3 学年	540				○
○			技能審査		3 学年	58				○
合計				17 科目	4,114 単位時間（ 単位）					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
国際航空専門学校	昭和55年3月28日	猪掛 隆	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人浅野学園	昭和56年3月25日	中井 眞一郎	〒359-1131 埼玉県所沢市久米354 (電話) 04-2923-1318			
目 的	学校教育法の規定に基づく専門課程を置く専修学校として、航空機の整備に関する専門技術を教授するとともに、社会人として必要な教養を与え、もって優れた航空技術者を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	専門課程	航空整備科 (一等運航整備士コース)	3年(昼)	4,114時間	平成19年文部科学省告示第21号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,422時間	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1,410時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	18(分科後28)人	32人	0人	32人		
学期制度	■1学期：4月10日～7月24日 ■2学期：8月21日～12月22日 ■3学期：1月11日～3月19日			成績評価	■成績表(有)・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月9日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月20日～3月31日			卒業・進級条件	■学生規則による	
生徒指導	■クラス担任制(有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 体育祭、校外研修 ■サークル活動(有)・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 株式会社JALエンジニアリング ANAラインメンテナンステクニクス株式会社</p> <p>■就職率※<sup>1</sup>100% 10名全員</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※<sup>2</sup> 100% 10名中10名就職</p> <p>■その他（任意）</p> <p>（平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報）</p>	主な資格・検定	<p>一等航空運航整備士 （ホーイング767）</p> <p>航空無線通信士</p> <p>ガスアーク溶接技能</p> <p>危険物取扱者</p> <p>航空特殊無線技士</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 -%</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 担任教官、教務部長、校長との面談の実施、保護者との連携、カウンセリングなど。</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.asano-kac.ac.jp">http://www.asano-kac.ac.jp</a>		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
大森 欽仁(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 人財開発部 訓練グループ グループ長
安斎 俊晴(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター教育訓練部 基礎教育チーム 主席
森田 力 (業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス安全品質・業務部安全品質推進グループ課長
小澤 洋(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 川越メンテナンスセンター センター長
猪掛 隆	国際航空専門学校 校長
後澤 進次	国際航空専門学校 管理本部長
山田 知良	国際航空専門学校 教務部長
岩田 高廣	国際航空専門学校 教務部次長
池上 和則	国際航空専門学校 エアロサポート科学科長
阿部 芳恵	国際航空専門学校 管理本部

\*編成委員の任期は2年とする。

(開催日時)

第1回 平成29年5月11日 12:00~15:00

第2回 平成30年2月15日 12:00~15:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

エアライングループと航空専門学校の整備士養成機関が協同・連携することにより、これまで航空専門学校単独では教育が難しいとされていた大型航空機の整備訓練用シュミレーター教育や整備実習教育等について、エアライングループが協力するインターンシップの仕組みを導入することにより、航空専門学校在学時に大型機の一等航空運航整備士資格を取得出来る体制を構築し、専門学校として航空業界への人材育成に貢献する。

る。

科目名	科目概要	連携企業等
一等航空運航整備士コース	大型機 (B767) について企業と連携し、在学中に一等航空運航整備士資格を取得する	株式会社 JAL エンジニアリング 全日本空輸株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

国土交通大臣指定 航空従事者養成施設 「教育規程」11-2 に基づき定期的な訓練(研修)を実施。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
中満 悦郎(関係施設役員)	公益社団法人日本航空技術協会 事務局長
森本 健(業界団体)	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 総務グループ長
奥西 武志(業界団体)	全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 担当部長
蟹江興太郎(業界団体)	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人事教育グループ長
山崎 一慶(本校卒業生)	多摩川エアロシステムズ株式会社 整備部 副部長
吉田 淳一(業界団体)	朝日航洋株式会社 航空事業本部 整備統括部長
山下 奉利(有識者)	国際航空専門学校 監事

学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp> 平成29年6月ホームページに公開

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ

URL: <http://www.asano-kac.ac.jp>

広報紙

学校説明会

授業科目等の概要

(工業専門課程一等航空運航整備士学科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			法規 (1) 航空法 規	航空法、施行規則、関連法規等	1 学 年	50		○		
○			法規 (2) 能力と 限界	ヒューマンファクター（誤作業防止に関し て）	1 学 年	20		○		
○			機体(1) 航空 力学	飛行機はなぜとぶのか。その原理を学ぶ	1・ 2 学 年	190		○		
○			機体(2) 機体	飛行機の構造、材料など	1・ 2 学 年	280		○		
○			機体(3) 装備 品	飛行機に使われている計器、その他の部品	1・ 2 学 年	330		○		
○			発動機	飛行機のエンジン（ピストン、タービン）	1 学 年	240		○		
○			英語	航空英語、TOEIC スコアアップ、英検受験等	1・ 2・ 3 学 年	180		○		
○			技術一般	飛行機の整備に係る一般技術	1・ 2・ 3 学 年	390		○		
○			教養一般	飛行機の整備に関わる一般知識	1・ 2・ 3 学 年	162		○		

○			試験		1・2・3 学年	64			○	
○			基本技術	航空機整備基本技術（技能審査受験）	1・2 学年	320				○
○			航空機及びシステム/系統装置	実際の飛行機の構造、各系統の知識	1・2・3 学年	460				○
○			航空機及びシステム/発動機	実際の飛行機の発動機の構造、知識	1・2・3 学年	430				○
○			航空機及びシステム/電気計器装備	実際の飛行機の電気、計器等の構造、知識	1・2・3 学年	200				○
○			航空機及びシステム/通信航法装備	実際の飛行機の通信機器の構造、知識	1・2・3 学年	200				○
○			航空機の取扱い	実際の飛行機の試運転	2・3 学年	540				○
○			技能審査		3 学年	58				○
合計				17 科目	4,114 単位時間（ 単位）					